

国際会議から セーフティークリティカルシステムシンポジウム2019(SSS'19)

本会議は、The Safety-Critical Systems Club (SCSC) というコミュニティーが主催したシンポジウムです。SCSC は、自動車、鉄道、航空機、船舶、医療などの安全が重要となるシステムに従事する事業者やメーカー、研究機関に所属する技術者・研究者間で知識を共有する目的で1991年に設立されました。シンポジウムは毎年2月頃に英国で開催されており、27回目の今回はブリストルで開催されました。

セッションは6つあり、それぞれ、自律化、AIと機械学習、セーフティーサービス、新しいアプローチ、安全の意思決定、および、セキュリティを意識したセーフティーに関連するテーマで議論が行われました。3日間で合計27件の講演があり、このうち、鉄道に関連する講演は2件ありました。シンポジウムを通じて、セーフティーはシステムが人間に与える危険事象からの防護であることに対して、セキュリティはシステムが人を含めた外部の要素から与えられる影響を防護するという観点で議論がなされてお



会場の Bristol Marriott Royal Hotel



27th Safety-Critical Systems



北野隆康
信号・情報技術研究部
列車制御研究室
副主任研究員

り、セーフティーとセキュリティを一对とした検討の重要性がうかがえました。また、今回はシンポジウムの前日に、同じ会場にて、英ヨーク大学による安全制御システムの自律化に関するワークショップが開催され、システムのセーフティーとセキュリティを担保した上で、自律化・AI化への要求事項や適用範囲を定めて検討することが重要であるとの議論がありました。

開催地のブリストルは、ロンドン・パディントン駅から列車で2時間ほどのところにあります。玄関口であるブリストル・テンブル・ミーズ駅は規模も大きく、英国西部における鉄道やその他の交通機関との乗換拠点にもなっています。

正式名称：27th Safety-Critical Systems Symposium
開催国：英国(ブリストル)
期間：2019/2/5-7
主催：Safety-Critical Systems Club
開催頻度：1年に1回
次回開催予定：2020年2月 英国
ホームページURL：<https://scsc.uk/e569>